

## 製品安全データシート

作成日:2012年5月10日/更新日2012年5月10日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 焼き付き防止剤 HTLB  
 主用途として、カートリッジヒーターの固着防止、伝熱補助

会社名 株式会社オーテックコーポレーション

住所 東京都大田区東馬込2-19-10

担当部門 化成品課/電話番号 03-5718-7425/FAX番号 03-5718-7426

緊急連絡先 同上/受付時間 月~金 9:00~17:30

整理番号 HT120510

## 2. 危険有害性の要約

【GHS分類】 ※分類対象外、分類できないは省略  
 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露):区分3(気道刺激性)

【GHSラベル要素及び注意喚起語】

【注意喚起語】

警告

【危険有害性情報】

・呼吸器への刺激のおそれ

【注意書き】

《安全対策》

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

《応急措置》

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。

《保管》

- ・換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施設して保管すること。

《廃棄》

- ・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

成分名	含有量 %	CAS No.	官報公示整理番号	P R T R
水	70~80	7732-18-5		
窒化ホウ素	25	10043-11-5	1-68	1-405
マグネシウム-アルミニウム珪酸塩	5.0未満	12173-47-6		

#### 4. 応急処置

- 吸入した場合** : ミストなどを吸い込んだ時は被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、保温・安静にし、必要に応じ医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合** : 汚染された衣類、靴などを速やかに取り除き、製品にふれた部分を大量の水及び石鹼水で十分に洗浄すること。  
皮膚等に変化が見られたり、炎症を生じた時には直ちに医師の手当を受けること。
- 眼に入った場合** : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当を受けること。  
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗眼すること。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗眼すること。  
すぐに痛みが無く視力に影響が無くても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合** : 吐き出させないこと。水で口の中をよく洗い、直ちに医師の手当てを受けること。
- 応急処置をする者の保護** : 適切な保護具(保護眼鏡、防護マスク、手袋等)を着用する。

#### 5. 火災時の処置

- 消火剤** : 製品は不燃性のため燃えないが周囲の火災に応じた消火剤を使用すること。
- 使ってはならない** : 情報無し
- 消火剤** : 周辺火災の場合は、容器を安全な場所へ移動する。移動できない場合、高温状態で加水分解が起こるとアンモニアガスが発生することがあるので、注意しながら容器の破損が生じないように注水し、冷却する。

#### 6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意** : 接触や吸入を避けるため、漏れた付近の周囲から人を退避させる。
- 事項、保護具及び緊急措置** : 処置を行うときは保護眼鏡、防護マスク、手袋等を着用する。
- 環境に対する注意措置** : 流出した内容物が河川等に排出されない様に注意すること。  
漏出物を直接、河川や下水に流さないこと。
- 回収、中和、封じ込めおよび浄化方法と機材** : 乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて、密閉できる空容器に回収すること。  
大量の流出には盛り土で囲って流出を防止する。  
付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- 技術的対策** : 換気のよい場所で使用すること。  
出来る限り吸入しないようにし、眼・皮膚・粘膜との接触を避けること。
- 注意事項** : 用途以外には使用しないこと。  
人体に使用しないこと。  
その他、表示された使用上の注意を守ること。
- 安全取り扱い注意事項** : 容器の転倒、落下など衝撃を加えないこと。
- 保管**
- 技術的対策** : もとの容器で保管すること。金属製容器は腐食するので使用しないこと。  
子供の手の届かないところに保管すること。  
フタをきちんと密閉して保管すること。  
その他、表示された保管上の注意を守ること。
- 混触禁止物質** : 強酸化物質
- 安全な保管条件** : 施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料** : 樹脂容器(販売時に提供された容器)

8. 暴露防止及び保護処置

管理濃度・許容濃度：

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH (TLV-TWA)
水			
窒化ホウ素			10mg/m <sup>3</sup> (Total dust)
マグネシウム-アルミニウム珪酸塩			10mg/m <sup>3</sup> (Total dust)

設備対策：通常の換気装置。許容濃度超える場合は局所排気設備の設置が必要。

保護具：呼吸器用の保護具；防塵マスク

手の保護具；保護手袋（ゴム手袋）

目の保護具；保護眼鏡（側板付きまたはゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具；保護服（長袖）。必要に応じて、保護前掛け、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

形状	原液 液体
色	白色
臭い	無臭
pH	9
融点・凝固点	情報無し
沸点	情報無し
引火点	なし
爆発範囲（爆発限界）	なし
蒸気圧	情報無し
密度（20℃）	1.25
溶解度	情報無し
n-オクタノール/水分配係数	情報無し
自然発火温度	なし
分解温度	情報無し
臭いの閾値	情報無し
蒸発速度	情報無し
燃焼性	情報無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性：通常の使用・保管条件では安定。

危険有害反応性の可能性：通常の状態では反応性はない。

避けるべき条件：酸素に富む物質（強酸化剤等）との接触によりホウ酸や窒素酸化物の生成する可能性。高温状態での加水分解によりアンモニア等が生成する可能性。

混触危険物質：情報無し。

危険有害性のある分解生成物：熱分解などにより酸化ホウ素や窒素酸化物、ホウ酸、アンモニアなどが生成する可能性有り。

11. 有害性情報

成分名	LD50M	LD50S	LC50R	皮	眼	呼	変	発	生	単	反	吸
水												
窒化ホウ素										3		
マグネシウム-アルミニウム珪酸塩										3		

※略記号（データ及びGHS区分） ※分類対象外、分類できないは省略

LD50M：経口（主としてラット）mg/kg、LD50S：経皮（主としてウサギ）mg/kg、

LC50R：吸入（主としてラット）ppm、皮：皮膚腐食性・刺激性、眼：眼に対する損傷性/刺激性、

呼：呼吸器感作性または皮膚感作性、変：生殖細胞変異原性、発：発がん性、生：生殖毒性、

単：特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）、反：特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）、

吸：吸引性呼吸器有害性

## 1.2. 環境影響情報

生態毒性	: 情報無し
残留性/分解性	: 情報無し
生物蓄積性	: 情報無し
土壤中の移動度	: 情報無し

## 1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物として各自治体の法令に従い廃棄すること。
汚染容器・包装	: 産業廃棄物として各自治体の法令に従い廃棄すること。

## 1.4. 輸送上の注意

国際規則	: 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連番号	: 非該当
国連品名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 情報無し
国内規則	: 陸上輸送; 消防法、労働安全衛生法等の輸送について定めるところに従う。 海上輸送; 船舶安全法の輸送について定めるところに従う。 航空輸送; 航空法の輸送について定めるところに従う。

## 1.5. 適用法令

消防法	: 非該当
労働安全衛生法	
施行令別表第1(危険物)	: 非該当
施行令第18条(名称等を表示すべき危険物及び有害物)	: 非該当
施行令第18条の2別表第9(名称等を通知すべき危険物及び有害物)	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
化学物質管理促進法	: 指定化学物質リスト(PTR法)第一種指定物質; ホウ素化合物
毒物及び劇物取締法	: 非該当
航空法	: 施行規則第194条 非該当
船舶安全法	: 危規則告示別表第1 非該当

## 1.6. その他の情報

記載内容は、現時点で入手した情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。

注意事項は、通常の取り扱いを対象としたもので、特別な取り扱いをする場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、取り扱い願います。

## 引用文献等

- ICSC国際化学物質安全性カード
- 溶剤ハンドブック(2004)
- 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ(2003)
- (独)製品評価技術基盤機構公表GHS分類結果